様式３(2015.06改)

作成日　平成　　年　　月　　日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	
事業所名	

【重点項目への取組状況】

		評価
重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	
	音楽療法、、体操回想法、大正琴、フラダンス、手品等多くのボランティアを受け入れ小規模と合同で交流が図られ、利用者の楽しみとなっている。ほがらか会と言う町内会の主催で管理者は、施設や認知症について説明する講演を鶴舞コミニュテーセンターで行い、地域の人の参加が得られている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	
	運営推進会議は二カ月に一度いきいき支援センター職員、民生委員、協力医、利用者、ホーム職員の参加に寄り年六回実施し、ホームの活動が報告されている。毎回議題を設けて参加者から意見や助言をいただきホームの運営に反映されている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	
	日常的に市の介護保険課に電話で相談や指導を受ける際にホームの情報を伝え、協力関係が図れるように努めている。いきいき支援センターにはボランティアの紹介を依頼したり、いきいき支援センター主催の講演がホームで行われている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	
	請求書と一緒にホーム便りや写真を同封し、ホームの様子を家族に伝えている。家族には電話連絡や面会時にコミニュケーションを図り意見要望を聞き出して、速やかな対応が出来るように心掛けている。開設後初めての夏祭りのイベントに家族参加が得られている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	―	○		